

食べ物の無駄をなくそう！！

明治学園高等学校2年
波多野 片岡 坂口
福富 吉田

①食品ロスとは？

本来食べられるにもかかわらず捨てられてしまう食品のこと。
一人当たり・・・毎日お茶碗一杯分！
日本全体・・・世界の食糧援助量の2倍以上！



※農林水産省「食品ロスの削減に向けて(平成30年4月)」より

③賞味期限の決め方

食品の賞味期限には、安全係数がかけられている。
国は0.8を推奨しているが、ほとんどの企業がそれより小さく設定している
→賞味期限がより短くなっている
→食品ロスが増える！！

安全係数が0.8の場合



賞味期限を0.8で割った日数を食べられる目安にしよう！

②食品ロスを減らすには？

食品ロスの原因



賞味期限切れによるものも！

美味しく食べられる期間で、この日を過ぎてもすぐに食べられなくなるわけではない

しかし・・・
実際いつまで食べられるのかわからない
→捨ててしまっている？

人々の賞味期限への理解を深めて、
食品ロス削減を目指す！

活動内容:

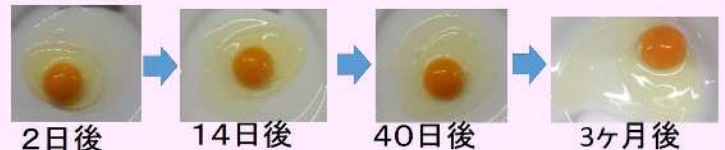
- 賞味期限について詳しく調査する
→③安全係数について
- 賞味期限前と後の食品を比較する実験を行う
→④卵、牛乳・ヨーグルトの実験
- 〇×クイズ動画を通して人々に啓発
→2/20より環境ミュージアムで放映中

④実験

賞味期限が切れた後の食品はどうなるのか、実験した。

①卵

通常の賞味期限は二週間だが、冬場なら一か月以上生で食べられるという情報があったから。



しばらく変化は見られない！

白身がサラサラに

②牛乳・ヨーグルト

- 賞味期限切れによって捨ててしまうことが特に多い食品だから。(校内アンケートより、全190票)
- 開封後の期限が分からないから。



見た目・臭いに明らかな変化なし！

実際、賞味期限が多少切れても変化は見られなかった！

- ⑤
- 賞味期限を0.8で割った日数までを食べられる目安にする
 - 賞味期限を過ぎてもすぐには捨てない
 - 賞味期限が切れた食品は臭い・見た目を確認し、食べるか食べないか判断する

結論

→食品ロスを減らして、循環型社会へ！

12 つくる責任
つかう責任



第2回高校生 SDGs 選手権大会 ポスター発表部門

学校名	明治学園高等学校
発表タイトル	食べ物の無駄をなくそう!!
設定した課題	人々の賞味期限への理解を深めて、食品ロス削減を目指す
関連するSDGsのゴール・ターゲット	12
ポスターの説明	<p>食品ロスについて調べる中で現在の状況が深刻であることを知り、その現状を改善するために私たちができることを考えた。そして期限切れによる直接廃棄、中でも理解の薄いであろう賞味期限に注目した。</p> <p>まず、賞味期限には安全係数がかけられているため、実際に食べられる期間よりも短くなっていることが分かった。</p> <p>次に、実際に実験を行った。賞味期限の前後でどのような変化が現れるのかを調べた。</p> <p>また、食品ロスに関するクイズを作り、その動画を環境ミュージアムで放映している。これにより少しでも多くの人々の賞味期限に対する理解を深め、SDGs12番の達成につなげたい。</p>
制作の意図やアピールポイントなど	<p>実際の実験の写真や図を用いて、より分かりやすく、必要な情報を簡潔にまとめた。</p>
苦労した点	<p>実際、賞味期限が切れても、いつまで食べていいのかを調べる実験をしたが、確信を持って食べても大丈夫だとは言い切れないこと。</p>
その他(自由記載)	<p>私たちのポスターを見て、賞味期限について正しく知って、食品ロス削減にご協力いただけると嬉しいです。</p>